

- セミナー報告1
- 第2回東京古書会館セール／委員会報告2
- ASA Rollo Turner に聞く3
- 海外ニュース／ホームページ関連4
- 洋書の世界5

セミナー報告

『意欲的女性は会社志向』

日時：平成18年10月13日（金）15:30～17:00

講 師：中村 奈緒美、明治大学情報コミュニケーション学部助教授
（元フジテレビアナウンサー）

場 所：弘済会館（四ッ谷駅）

受 講 者：会員29名、非会員1名

わが国が少子高齢化社会に向かうにあたって確実に予想できることは労働力不足であり、それに対応するには女性の労働力が大きな役割を担う。しかしながらわが国（及び韓国）では歴史的にも男女の役割分業という概念が形成されており、いわゆるM字型カーブと呼ばれている25才から35才の間の離職率が高く、すなわち育児は母親の役割という概念が幅を利かせている。1986年施行の男女雇用機会均等法以降は若年女性に労働・昇進意欲が高まってきてはいるが、現在でも男性中心の経営者側には従来の固定概念が根強くはびこっている。

経済産業省の発表にもあるように、女性が意欲を持

って働いている企業はその業績を伸ばしているという事実がある。この結果は、今後女性にいかに意欲を持ってまたいかにワークライフバランスをたもって働いてもらうかが企業の浮沈の大きな要因のひとつといえるであろう。

大まかに以上のような講演の内容でありましたが、質疑応答も盛んに行われ有意義な中に終了できたし、何よりも講演の内容が大変よく会社の女性社員にレジメを配るといった感想が受講者の中から聞こえたのが、企画・設営の側にはその労をねぎらうものでありました。

広報委員会委員長 鈴木 仁（雄松堂書店）



第2回東京古書会館セール

11月7日（火）～8日（水）の2日間、会員12社が参加し、神田小川町の東京古書会館でセールを行いました。

今年の3月に続いて2回目の開催となった今回は、前回の反省点である集客向上をめざし、英文読売などのパブリシティーへの出稿、7月に行われた第13回東京ブックフェア（TIBF）バーゲン会場でのチラシ封入、古書組合洋書部との共同チラシ、会期中の駿河台下でのビラまきなど周到な準備を行って臨みました。

初日の開催前に10名程の開場待ちの行列ができ、大いに期待しましたが、売上では当初の皮算用には遠く及ばないものの対前67%増の売上を記録しました。

今回の売れ筋としては美術、デザイン、絵本等のビジュアル系が大半でしたが、反面専門書への要望も強い物がありました。

事業委員会としましては、このセールをTIBFに並ぶもう1本の柱と位置づけ、発展させて行きたいと思っております。

今後の課題としましては、さらなる集客のための宣伝方法、出展内容の検討、開催時期・場所の再考など

が挙げられます。ともあれ初めから大きな成果は無理ですので、地道に認知度を上げていくしか無いと思っております。

今回、赤字覚悟で出展いただきました会員各社、会場でお手伝い頂いた皆様、率先してビラまきを行ってくださった若手の方々、ほんとうにありがとうございました。また次回もよろしくお願いいたします。

（M.S.記）



委員会報告

第50回 麻雀大会

2006年11月2日（木）新宿 嵯峨野にて

参加者：16名 参加社：12社

氏 名	1回戦	2回戦	3回戦	合計	順位
鈴木（雄松堂）	44	27	69	140	優勝
金木（原書店）	-17	32	28	43	準優勝
西野（三友社）	39	-10	-9	20	3位
尾崎（エイビス）	-1	38	-20	17	4位
須山（丸善）	32	-13	-14	5	5位

次回第51回は 2007年2月2日（金）の予定です。
皆様のご参加お待ちしております。



ASA Rollo Turner に聞く

今回の英国出張に際し、私共外国雑誌取次業者の国際的な団体である ASA (Association of Subscription Agents and Intermediaries) の事務局長である Rollo Turner 氏を訪問し、定期刊行物市場が抱えている諸問題と将来への展望についてお話をお聞きいたしました。以下はその要旨です。

質問：ASA の活動状況について

回答：現在、全世界のメンバーは 44 名。主体は北米とヨーロッパであり、日本からは 4 名が加入しています。ASA の総会はフランクフルトメッセ会場で、又、年 2 回のセミナーを英国で開催しています。北米では ALA の総会時に会合が行われ、それ以外は不定期に各国で会合やセミナーが開かれています。

質問：現在の定期刊行物取次業（日本では外雑）に起きているトレンドは何ですか

回答：この業界の主要な顧客は図書館であり、STM が圧倒的なシェアを占めていますが、この観点から見れば一番大きな変化はやはり Print から Electronic へのシフトでしょう。米国、英国では殆どの顧客が e-only に切替えています。ヨーロッパ諸国はここまでのレベルには到っていませんが、このことが雑誌取次業者に与えている影響は非常に大きいと思います。

質問：では、このような環境で何が問題となっているのでしょうか

回答：従来の Print 中心の市場価格体系と異なり、Print と e-journal, Package 価格など現在は極めて複雑な価格体系が生じており、これをコントロールすることは取次業者にとっても大きな問題です。これからは取次業者の事務部門のスキルを上げる必要があります。また、営業部門と他部門がリアルタイムで顧客や商品の流れのデータを把握することができるシステムの開発が求められています。この意味で私達の機能は Service Agent に変貌していかなければなりません。また、この分野で働くプロフェッショナルは Web search のプロでもあり、従来の単調な事務処理のスキル以上のものを求められています。従って従来の雑誌取次業から新しいビジネスモデルに変換することは容易なこと

ではないと思います。尤も、日本の大手取次店はかなりの能力を備えていると私はみています。

質問：現在の世界レベルでの市場の状態について知りたいのですが

回答：最大の市場である北米は安定しています。英国は過去と同じレベルで JISC や NESLI (国レベルの大学の定期刊行物購入プラン) のプランも継続されています。ヨーロッパの市場は少し良くなるとみています。北米や英国では企業の市場が成長しています。例えば今まで雑誌取次業者の取引対象者の主体が STM 分野図書館であったのが企業の調達とか情報部門をターゲットとしたビジネスを目指しており、比較的規模の小さな取次業者もこの分野では活躍しています。

質問：新しいメディアとして Open Access という手段が出現していますが、今後この分野はどのように変化するでしょうか。

回答：現在のレベルでは Molecular Biology などの分野での利用度が高いのは事実で、Open Access が他の分野に普及するかは未だ分かりません。当然レフェリー制度の維持は必要とされています。

質問：INSTITUTIONAL REPOSITORY の将来は？

回答：未だ何ともいえません。ただ利用度の高まるのには時間が掛かることは間違いありません。

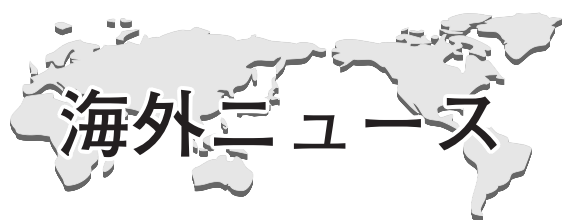
質問：Google について

回答：利用者が急増しており今後は何が起こるかは分かりません。ただ、より専門分野を深く検索するにはそれなりの専門性を備えたサービスが当然必要とされるでしょう。

以上

<協会ホームページより転載

提供：ユサコ株式会社 山川 隆司>



◆◆ IDPF (国際デジタル出版フォーラム) による 新規格

The International Digital Publishing Forum (IDPF) は、「デジタル・コンテンツの創造、流通、使用を促進するために」技術的規格を作成した。

IDPF によると、その規格、Open eBook Publication Structure Container Format (OCF)を設定したことで、「出版社は規格をクリアしたコンテンツを販売・流通ベースに乗せられる。同時に、消費者は暗号化されていない電子ブックやその他のデジタル出版物を、新しい規格に合わせたシステムに変換することができる。」

40社以上の出版社、テクノロジー会社、団体などがこの規格を採用しており、参加者には Adobe Systems Inc.、Benetech、DAISY Consortium、eBook Technologies Inc.、Hachette Book Group、Harlequin、iRex Technologies、Mobipocket、netLibrary、OverDrive Inc.、Random House、Simon & Schuster、WGBHなどが含まれる。

LibraryJournal.com <http://www.libraryjournal.com>
NOV/06/2006

◆◆ ABA (全米書店協会) による ISBN-13 桁化への動き

今週 ABA (全米書店協会) は 2007 年 1 月 1 日からの ISBN-13 桁化について、メンバー書店に書状とチェックリストを送付した。

ABA 理事長 Avin Mark Domnitz の書状では、ISBN が 10 桁から 13 桁に変更されることが、全ての書籍関係者に影響を与えることだけでなく、「10 桁にしか対応していないシステムの全てが、13 桁に対応できるよう更新・修正されねばならない」と示唆している。「貴書店のコンピュータ・システムが未だ更新されていなければ、早急に更新・修正する必要がある。さもなくば 13 桁化以降は書籍の販売ができなくなるだろう」

ABA では FedEx を使って書状を送付するなど異例の措置を取って、全てのメンバー書店に状況を周知させ、あわせて、ABA および Book Industry Study Group による「ISBN-13 Task Force」を提供して、書店の対応を助けている。最新版の「Getting Ready for ISBN-13 Checklist」が書状に同封されている。

ABA (American Booksellers Association)
<http://news.bookweb.org> NOV/16/2006
(ニュース提供：丸善洋書部)

ホームページ関連

この度第一出版貿易株式会社の佐々木大刀夫氏による「洋書、洋雑誌とともに 50 年 ―思い出すまに―」を掲載いたしました。ご覧ください。

掲載場所はトップ (<http://www.jaip.gr.jp>) →「お知らせ」→「特集」です。

10 月から始めました「生誕 250 周年記念モーツァルト CD セール」も無事終了いたしました。初めての試みでしたが、多くの方々のご理解とご協力をいただき、用意した半数以上を売り上げる事ができました。

お買い上げ頂きました皆様と商品を特別に調達していただきました日本出版貿易株式会社にお礼申し上げます。

(4) 著名人との出逢い

津田スクール・オブ・ビジネスで予科、本科の三年課程を修め就職した英国系の出版関連企業が、私にとって終生本と関わって45年に及んだ生活の幕開けとなりました。生来、人間嫌いであった様に思われた私にとって最初の試練は、入社した企業内での人間関係を如何に取り組むかの点にありました。仕事の上で接触する上司は主として英国人で、取り敢えず国籍を異にする彼等の性格と個性を把握することに極力努めました。自分自身が選択した職場である限り、会社の目指す事業目標の達成に全力で挑戦する事こそ自己責任を全うする唯一の道である事を自覚して居りました。そして、組織内で己の存在を確かなものとする為に最低10年の努力が必要である事を自分に悟らせました。

余談となりますが、10歳で終戦を迎えた私は、戦後米国の占領行政が齎した民主主義の諸原則を何か奇異な社会体制として捕らえて居りました。取りも直さず、日本にあっては江戸時代以後の庶民社会で顕著であった、人と人、人と地域、人と組織に互る人間同士の絆を重要視する国民性が日本人本来の特質で、この生活文化即ち human net を基本に発展した社会体制が、日本流の資本主義を定着させた根源であった事は明らかです。

出版の世界は、正にこの人間同士の英知を原資として展開する事業であり、私はこの職業を通して国の内外を問わず望外の要人と出会う幸運に浴することになりました。日本の文学界で著名な吉田健一、三島由紀夫の両氏との出逢いは既に小生のクロニクルで紹介済みですが、特に記憶に残る数名の著名人との出逢いに言及させていただきます。

93歳の高齢で本年初頭逝去なさいました都留重人先生の“お別れの会”が3月6日如水会館で執り行われました。一橋大学が今日所蔵する世界的に著名な三井・フランクリン文庫の取得は氏の学長時代の偉業で、私が文庫の原所有者からの移譲交渉に当たった関係で、以来氏とは折々お目にかかる機会がありました。氏はハーバード大学の黄金時代と称される1930年代後半、同大学で学ばれP.A.サミュエルソン氏の他、後年世界的に名声を博した数名の経済学者が学友であったとっております。博学な氏の経済学者としての名声は然る事ながら、あらゆる面に几帳面で、暖かい先生の気遣いには頭が下がりました。日本で開催された学会に参加の為訪日した経済学者の諸氏と会食をする機

会が屢々ありましたが、その折の先生の食前酒は常にストレートのドライ・マティニでした。蝶帯でダンディな身造くろいをされた先生が、ドライ・マティニをお楽しみになるお姿は思い出深い残像となりました。

ルフトハンザ航空の便でフランクフルトから帰国の折、嘗てドイツの首相を務めたヘルムート・シュミット氏が偶然私の隣の席に乗り合わせました。氏は世界主要国の首相経験者が集うOBサミットに出席の為訪日途上にありました。12時間余の飛行時間でしたが、4時間余りを読書と会議の関係資料の点検等でお過ごしになられ、4時間余り睡眠をお取りになりました。そして残りの4時間程は2回の食事を交え私との雑談で時が経過しました。その折交わした対話は日本を廻る政治、経済問題が主要なテーマで多くの質問が向けられ私にとって緊張感に包まれた記憶に残る体験となりました。

マイクロ・ヘセルティン氏はサッチャー首相に次ぐ英国の次期首相候補として嘗て頻繁にマスコミ報道に登場しました。氏は国防大臣として国政に関与して居りましたが、前職はヘイマーケット・グループ社（英国の経済、商工業関連ジャーナル出版社の大手）の社長で20年程前私は氏から日本で同種のジャーナル出版社を共同で建ち上げる提案を受け数度の会合をもちました。然しながら、氏の政界入りでこの案件は実現には至りませんでした。後年リクルートその他企業が同業種の分野で出版活動に進出し見事な成功を収めた現実を前に私は悄然としました？

“Dr DeBonoの平行思考”は一時期邦訳版としてベストセラー・リスト上位を占めました。Jonathan Cape社がこの著作の版元であった関係で氏の訪日の折私が世話役を勤めました。夕食を共にして後立ち寄ったクラブでの出来事です。私共のテーブルに同席したホステス嬢二人とジャンケンをする事を氏に提案しました。まず5連ジャンケンで3回戦の練習ラウンドの後、決戦に移りました。果たせるかな、氏は両者に無敗の連勝をしました。私はそれが氏の偶然の勝利の様には思えませんでした。氏は前哨戦で両者のグー・チョキ・パーを出す順序に一定のパターンがある事を予め察知したに違いなく、氏の専門とする生理心理学上の行動原理がこのお遊びを通し、単なる理論に止まらず行動の上で裏付けられた瞬間であった様に思われたからです。

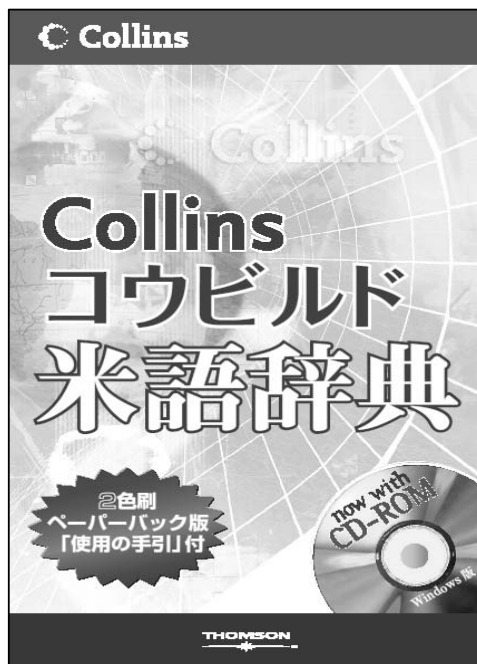
コリンズコウビルド米語辞典

Collins COBUILD Advanced Dictionary of American English

本書は、発売以来大変好評をいただいている『コリンズコウビルド英英辞典 第5版』をもとに再編集された、COBUILDとして初めての米語英英辞典です。ますます多様化する「米語」について、研究者やアメリカ英語学習者の期待に応える画期的な辞書です。

- 新しく誕生した『コリンズコウビルド米語辞典』は、“ネイティブが普通に使っている最頻出語彙”“実際に使用されている文法パターン”および“もっとも自然な英語”の各定義により、英語学習者にとって最高の情報源を得ることが可能
- 文章スタイルを使った自然な英語で書かれた11万語もの、語・句・定義が記載され、今日の英語を正しく把握
- 見出し語数11000、「本物の英語」の例文が75000も記載
- 5,500の文法項目、連語、パターンなどを定義の中で紹介
- 250の“Word Web”では、百科事典的な読みものやイラストを通して関連語彙を紹介
- 1500ある“Word Link”では接頭語や接尾語、語根を紹介
- 50の絵辞典ボックスでは、主要語彙とそのコンセプトを解説
- 1150ある“Word Partnership”でコロケーションを学習
- 同義語と反対語を紹介している725個の類義語をエンタリー
- 見やすいカラー・レイアウト。必要な情報にすばやくアクセス
- 『CD-ROM』および日本語表記の別冊『使用の手引』付き

定価3,885円(本体3,700円+税)
A5判変形(24cm) 1,680頁
『CD-ROM』『使用の手引』付
ISBN4-88996-218-2



好評発売中!!



コリンズコウビルド
英英辞典 改訂第5版

『オックスフォード英英辞典』や、『ロングマン現代英英辞典』と並び、全世界でご愛用いただいている辞書です。

ISBN4-88996-203-4
定価3,885円(本体3,700円)

【発売】 日本出版貿易株式会社

- 東京本社 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-2-1 Tel:(03)3292-3755 Fax:(03)3292-8766
- 大阪営業所 Tel:(06)6886-7176 Fax:(06)6886-7131 ●九州営業所 Tel:(092)651-3785 Fax:(092)651-1191
- 名古屋出張所 Tel:(052)459-5201 Fax:(052)459-1056 ●WEBサイトでの在庫検索・発注 <http://yosho.jptco.co.jp>

